

平成23年度後期学校評価アンケートの考察と今後の展望

1 基本的な生活習慣の育成

「わが家のやくそく」を守るようにしているか」との質問項目は、前期とあまり変わりませんでした。「わが家のやくそく」は、学級のやくそくやその他長期休業中の休みのやくそくなどたくさんあり、「わかりにくい」という指摘も受けました。

今後、学校内で協議しながら、よりよい生活習慣、学習づくり推進を図りたいと思います。

早寝・早起きは、前期に比べややポイントが下がっていますが、アンケートをする時期、季節的なもののあるかもしれません。明るい元気なあいさつは、80ポイント以上あり、交通立哨や校門でのあいさつに運動の成果が出ているように思います。

2 学力の向上

家庭での読書習慣の確立は、前期よりややポイントが上がっているように思いますが定着しているとはいえません。テレビやゲームに時間を割かれ、家庭で読書の時間を生み出すことが難しい現状がありますが、読書は、自分の頭で考え、想像できるよさがあります。頭を働かせたり心を豊かにしたりするのに最適なものの一つです。親子読書を勧めたり学校で読書時間を確実に作り出すなどして読書週間を付けていきたいと考えています。

また、ほとんどの児童は学校が楽しいと感じていて、先生もいろいろな相談に乗ってくれると回答しています。今後ともあらゆる授業で、児童に教える技術を向上していかなければならないと思っています。

3 安心・安全な学校

学校は、環境が整備され、いつもきれいに整えられていると高い評価（前期・後期とも90ポイント以上）をいただいています。保護者の皆様には、移植等の手伝い大変ありがとうございました。「学習は環境から」と言われるように「環境整備」に今後とも努めていきます。

職員は、いじめや非行をなくすために、個々の子に配慮したり指導したり最大限努力をしております。前期と同様「わからない」と解答された保護者が10ポイント以上おられました。学校にはスクールカウンセラーが月に1回来校します。教育相談やスクールカウンセラーの役割についての情報をさらに提供したいと思います。

皆様方からいただいた、肯定率の高いものについて、教職員はありがたく評価を受け今後ますます精進を重ね、肯定率の低いものについては具体的な対策を考えて努力していきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。